



市長就任のごあいさつ

村上市長

高橋 邦芳

6月28日に行われました市長選挙におきまして、市民の皆様からのご信任を賜り、市長の重責を担わせていただくこととなりました。改めてその責任の重さを痛感しているところであり、これからの村上市発展のために、市民の皆様から託された思いの実現に向けて決意を新たにしております。

私は、昭和57年から岩船地域広域事務組合に勤務し、平成20年4月の市町村合併からは村上市職員として7年、合わせて33年間行政職員としてまちづくりに携わってまいりました。このたびの選挙を通じて、子どもからお年寄りまでの市民一人ひとりがこのまちで暮らしてどのように感じているのか、また、行政が思い描いていることが市民の皆様が届いているだろうかとも感じられ、合併後7年が経過して長いようではありますが、思うように政策を進められなかったところもあったと思っております。

特に、社会環境が変化している中、合併時7万人の人口が6万4千人と減ってきておりますが、市町村合併の選択は、その課題に対応すべくしっかりとした財政基盤を築き、行財政改革を進め、

今後のまちづくりのあり方、ここで暮らす人たちの生活を確保し、維持、継続していくことの選択でもあったと考えております。

なお、人口減少問題への対策は喫緊の課題であり、これから国が進める地方創生において、地方版総合戦略の取り組みを積み上げていくこととなります。本市においては、昨年度から村上市人口減少問題対策「チャレンジプラン」に基づき、具体的な施策に取り組んでおりますので、この取り組みを確固たるものにして「定住の里づくり」に結び付けていく必要があります。

私は、このたびの選挙で「ひとりひとりの幸せのために」をモットーに、マニフェストに次の5つの柱を掲げました。

- 一. 子どもの笑顔があふれるまち
- 一. 市民が創る自治のまち
- 一. 活気みなぎる元気なまち
- 一. 安心して暮らせるぬくもりのまち
- 一. 魅力ある誇れるまち

本市には、全体の共通の課題があると同時に、地域固有の課題が山積しております。この5つの柱を実現するためには、さまざまな意見に耳を傾けながら、柔軟に、かつ、大胆に政策を行っていくことが肝要であります。今まさに、地方版総合戦略を先行し、第2次総合計画策定の機会を捉え、市民一人ひとりがここでの幸せ、豊かさを感じ、誇りある暮らしを見出せる郷土づくりに全力を傾注してまいります。

今後とも、市政に対する市民皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。就任のごあいさつといたします。

